

## 現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和5年8月

### （1）関係者一体となった野菜部門新規就農者カウンセリングを実施

8月22日に与論町役場で与論地区現地就農トレーナー野菜部門研修を開催し、新規就農者2人、指導農業士、関係機関等10人が参加しました。今回は、新規就農者ごとにカウンセリングし、聞き取り内容に基づき令和4年度産栽培状況や、過去3年分の決算、4年度産生産実績、5年度生産計画について1人1.5時間の検討を行いました。関係者一体となった支援により経営は年々改善が見られており、指導農業士からは「あとは本人次第だが、今後も継続して支援してほしい」との評価が得られました。



### （2）沖永良部果樹生産組合マンゴー品評会で栽培技術等を学ぶ

7月28日にマンゴー品評会が和泊町で開催され、組合員、関係機関等約50人が参加しました。玉揃い、外観、糖度、食味の項目で出品23点を審査し、金賞1人を含め5人が入賞しました。今年度は開花期から収穫期の天候に恵まれたこともあり、高品質な果実が多く、出品点数も例年より多くなりました。また、農業開発総合センター大島支場の研究専門員から着花安定対策を、農業普及課から熱中症予防・対策に係る研修も行い、次年度の高品質果実の安定生産に向けて有意義な品評会となりました。



(3) 農業経営個別相談会を開催し、法人化へ理解深まる

8月24日に与論町で税理士を招いた農業経営個別相談会を開催しました。相談会では、畜産の2経営体が経営診断を踏まえた法人化のタイミングや税制のメリット、棚卸資産（子牛、育成牛）及び固定資産（母牛、牛舎、機械、農地）の個人から法人への移動方法、円滑な経営継承に向けた法人化の意義について助言・指導がありました。研修終了後のアンケートでは、「前向きに法人を目指したい」、「法人化の意義やメリットを確認できた」との意見があり、有意義な相談会となりました。



(4) 知名町花き技連会がグラジオラス新規栽培者に栽培支援

8月28日に知名町技連会花き部会が現地ほ場でグラジオラスの新規栽培者研修会を開催し、計14人が参加しました。研修では、JAの生産組織部会長が定植方法等の栽培管理の実技指導、関係機関が栽培予定ほ場の施肥設計指導、球根助成や生産組織活動等を説明しました。新規栽培者からベテラン生産者・関係機関への熱心な質問があり、高い生産意欲を感じました。



今年度は8戸の新規栽培者が約1.5ha、約15万球定植予定で、農業普及課は関係機関と連携して安定生産に向けて支援します。